

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】	⑭【復旧・復興へのあゆみ】 震災津波で被害を受けた交通網や産業、住宅やまちの復旧・復興の状況を調べ、安全で生き生きしたまちづくりにかかわる。	総合

【題材】「田野畑ゆめみらい学習」

横軸連携校との生徒会交流、葛巻町・久慈市・野田村の見学（三陸鉄道）、野田村長との対話から「田野畑村教育の日のつどい」における「復興子ども会議」での田野畑村長、復興庁への提言につなげる活動

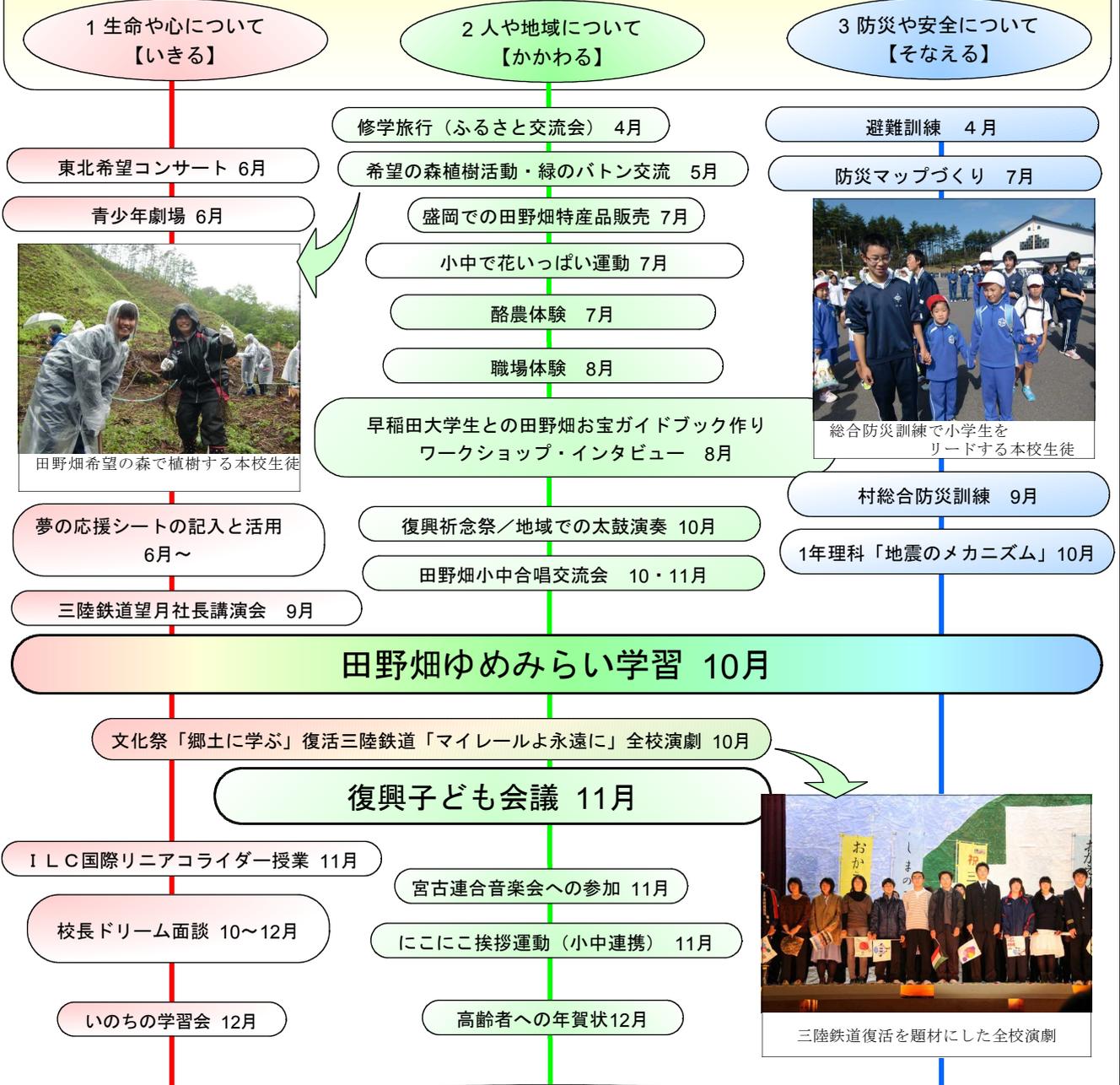
【対象】全校生徒

「いわての復興教育」における3つの教育的価値

1 生命や心について
【いきる】

2 人や地域について
【かかわる】

3 防災や安全について
【そなえる】



復興・発展を支える人づくり

【実践の詳細】

葛巻町内の江川中、葛巻中、小屋瀬中との生徒会交流を通して、これまでの支援に対する感謝の気持ちを伝える活動である。未来を担う同世代の絆を深めることをねらいとして、一昨年度（平成24年度）より実施している。昨年度から「田野畑ゆめみらい学習」と名付け、葛巻3中との交流の後、今年度は近隣野田村村長から直接、防災対策や三鉄を中心とした交通基盤整備、バリアフリーを意識した村づくりなど、政策の将来的ビジョンについての話をうかがい田野畑村の復興・振興について考える機会となるよう計画、実践した。

田野畑ゆめみらい学習の流れ

県校長会支援のバス3台で葛巻中学校へ（10月10日）

葛巻町内3中学校との交流（全校）
交流の主な内容

- ① 生徒会による学校紹介
- ② 田野畑の復興状況の紹介等
- ③ 4校交流ウルトラクイズ
- ④ 合唱交流と合同合唱（於：葛巻中）

バス1台で葛巻町内へ

1学年
「葛巻町に学ぶ」
バイオマス施設
エコ住宅
風力発電施設
の見学

バス1台で久慈市内へ

2学年
「県立高校訪問」
久慈工業高等学校

バス1台で久慈市役所へ

3学年
「野田村に学ぶ」
野田村復興見学
野田村村長講話
「東日本大震災からの復旧・復興・飛躍をめざして」

葛巻・野田の状況をまとめ、レポートを作成

復興子ども会議 11月1日

参加者は田野畑小代表児童、田野畑村村長、復興庁岩手復興局職員、PTA、地域住民多数



学校農園で収穫した野菜を頂く本校生徒



バイオマス発電の説明を受ける1年生



野田村村長から政策の説明を受ける3年生

【生徒の感想】◆野田村村長さんから「近隣市町村が協力し合ってこそ復興発展できる」ということを聞いて、みんなの力を合わせる大切さを実感した。◆葛巻では風力発電やバイオマスによって村の電力をまかなっていて電力自給率166%ということを知って驚いた。◆野田村の復興事業への取り組みの速さに驚いた。村を引っ張っていくリーダーの存在が大事だと思った。◆葛巻や野田のように高齢化への対策、バリアフリー、交通網の整備などはっきりとしたビジョンをもたなければならないと感じた。◆田野畑村も何かをPRし、もっと観光客を増やすべきだと思った。◆久慈工業高校を見学して、工業高校もいいかなと思った。機械に興味があるのでおもしろかった。◆田野畑村も、その地域に合った産業やエネルギーづくりをしていきたいと考えた。また、葛巻町のようにはっきりと村の特性を生かした産業を発展させていき、村の良さを最大限に生かしてさらにいい村をつかっていきたい。

【まとめ】◆復興教育3つの教育的価値の「かかわる」の7項目のうち、特に「復旧・復興へのあゆみ」をねらいとした実践を横軸連携の取組を通して行うことができた。◆他校との交流を通して、生徒会リーダーの校外での活躍場面を設定することができ、リーダー育成につながった。◆他市町村の状況を実際に見学し、自分たちの村と比較することにより、あらためて地域の良さを見直すとともに、課題について考えるきっかけとなった。◆他市町村の首長の話を通じて地元への思いを直接感じ取り、将来の自分と郷土へのかかわりを考えるよい刺激となった。★県校長会の「横軸連携」という力強い支援のお陰で、地域を越えたダイナミックな教育活動を展開することができたと感じている。快く受け入れてくださった関係各位に心から感謝申し上げたい。

田野畑村復興子ども会議



田野畑小中代表児童生徒が自分たちが調べ考えたことをもとに、村の現状と未来について話し合い、観光資源の開発の提案や田野畑村の一員として自分たちにできることなどを提案できた。